

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名 パル

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		活動場所の選定	活動に応じた場所の選定を行っています。
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	階段等に手すりの設置	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		定例会議・業務前の朝礼	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者アンケートの実施	今後もアンケートを実施し、保護者からのニーズを把握していきたいと思います。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページにて公開	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在、第三者評価を行っていません。今後必要に応じて検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		心理士を招いての研修	今後も必要な研修を検討し、機会の確保を行っていきます。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		法人で作成したアセスメント表を使用	契約時に細やかなアセスメントを行うが、その後改めて行う場を設けていない。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		法人で作成したアセスメント表を使用	今後の実態や状況に応じてアセスメント表をより使いやすいものに検討していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		複数人が立案に関わっている	複数人が立案に携わり、管理者・児童発達支援管理責任者が確認をしています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		季節に応じた工作やおやつ作り	外活動だけでなく、季節に応じた工作やおやつ作りなどを行っています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		利用時間に応じて対応	利用時間に応じて活動場所を選定していますが、個々に応じたよりきめ細かな活動を選定するよう取り組んでいきます。 その日に応じて個別活動や集団活動の提供を行っています。今後も偏りが無いよう色々な活動を提供できるようにしていきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		利用時間に応じて対応	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日の朝礼での確認	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		個別の療育記録、掲示板への記入	個別の療育記録への記入だけでなく、情報の共有にも心掛けています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		個別の療育記録への記入	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		6ヶ月に一度のモニタリング	6ヶ月に一度のモニタリングを行っています。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している		○		まだガイドラインを用いていません。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達管理責任者の出席	今後も児童発達管理責任者が出席していきます。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている		○		基本的には保護者を介しての情報共有としていますが、今後も必要に応じて学校とも連絡を取り合っ対応しています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		医療ケアを受け入れる体制がないため、受け入れを行っていません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		今年度、新1年生の入会がなく情報共有の機会がありませんでした。今後必要に応じて行っていききたいと思います。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		提供機会があれば、保護者の了解の元に情報提供を行っていきます。今年度に関してはニーズがなかったため行っていません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		今年度、研修の受講はありませんでした。必要に応じて研修への参加を考えています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		児童館への利用は行っていましたが、交流は行っていません。保護者のニーズをもとに検討していききたいと思います。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			放課後等デイサービス連絡協議会には必ず参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		保護者お迎え時	保護者お迎え時を中心に日頃の様子等情報交換や共通理解を行うように心掛けています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		現在行っていません。保護者のニーズに合わせ、検討していききたいと思います。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		入会面談	入会面接以外にも問い合わせ等に対してすぐ開示ができるようにしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		その都度	相談にのった後、スタッフ間で情報交換を行い、保護者へのフィードバックを心がけています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		現在行っていません。保護者のニーズに合わせ、検討していききたいと思います。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情受付担当の位置づけ	苦情受付担当を通して、迅速な対応をしたいと考えています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		現在行っていません。保護者のニーズに合わせ、検討していききたいと思います。
	35	個人情報に十分注意している	○		鍵のある書庫での保管	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		保護者との連絡ノート	ノートにて保護者とやりとりできる体制を整えています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		事業所開催の行事を行っていません。保護者のニーズ等加味して今後について検討していききたいと思います。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		マニュアルのファイリング、わかりやすい所での保管	希望者へは開示できるようにはなっていますが、広く周知できる体制が整っていません。今後検討していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的な防災訓練の実施	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修会への参加	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○		現在記載を行っていません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		毎年調査票を配布	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		定例会議での議題としての取り上げ	